

Taketa City

GikaiNews

たけた 市議会だより

- 議会改革調査特別委員会 委員長挨拶 2
- 期日・時間・会場・テーマ・方法 3
- 参加した市民の皆さんのご意見 4～5
- アンケートのまとめ 6～7
- 行政視察報告 8



写真提供者 熊谷 明

●所 属

大分県美術協会写真部招待会員

九州国画会同人

竹田市美術協会写真部会員(部会長)

日本風景写真協会会員

議会からの政策提言を目指した 「市民との意見交換会」を開催して

～移住・定住の取組の課題について～

議会改革調査特別委員会

委員長 阿部 雅彦

毎年、竹田市議会は市民との意見交換会を開催しています。これまで、議会が班編成をし、テーマを決めたりしながら、地域に出かけていました。しかしながら、参加者が少なく、同じ顔ぶれである等の課題があり、今回は新たな形式に挑戦することとしました。

今回は議会で決めさせて頂きました。今回は、より多くの皆さんとの意見交換を希望する団体・グループがおられましたら、是非とも、議会の方へ連絡して頂きたいと思ひます。お待ちしております。

見や要望があげられています。市民の皆さんが考えるこれらの貴重な意見や要望があげられています。市民の皆さんが考えるこれらの貴重な意見や要望があげられています。市民の皆さんが考えるこれらの貴重な意見や要望があげられています。

今後の議会の取組としては、議会改革調査特別委員会がまとめた、

今回の意見交換会は、テーマを竹田市の取り組む最重要課題である「移住・定住」に絞り込みました。参加者については、市内の各種団体に説明をして、出席して下さる皆さんを決めて頂きました。当日は、2日間の日程で開催し、より多くの参加団体の皆さんが交流出来ることも視野に入れて、ワークショップ形式で進めていきました。参加団体については、

今回の意見交換会は、テーマを竹田市の取り組む最重要課題である「移住・定住」に絞り込みました。参加者については、市内の各種団体に説明をして、出席して下さる皆さんを決めて頂きました。当日は、2日間の日程で開催し、より多くの参加団体の皆さんが交流出来ることも視野に入れて、ワークショップ形式で進めていきました。参加団体については、

さて、今回のテーマである「移住・定住」につきましては、少子高齢化による人口減少が進む竹田市にとりましては、何としても乗り越えていかなければならない喫緊の課題であります。地域・学校・農畜産業・商工業・消防団等の維持が大変難しい状況になつてきています。これらをどのような形で解決していくのか、意見交換会では、真摯で白熱した議論が展開されました。市民の皆さんから出されたご意見は、この後のページにまとめさせて頂いております。主に

見や要望があげられています。市民の皆さんが考えるこれらの貴重な意見や要望があげられています。市民の皆さんが考えるこれらの貴重な意見や要望があげられています。市民の皆さんが考えるこれらの貴重な意見や要望があげられています。

なものとしましては、農村回帰の取組の中でも、空き家バンク制度の見直し・地域おこし協力隊の活動・農業後継者や新規就農者への新たなサポートの仕組みづくり等、多くの意見や要望があげられています。市民の皆さんが考えるこれらの貴重な意見や要望があげられています。市民の皆さんが考えるこれらの貴重な意見や要望があげられています。



市民との意見交換会

分野別の市民団体の方々と、竹田市総合社会福祉センターを会場に、「市民との意見交換会」を開催しました。「移住定住促進のための課題について」をテーマとして、ワークショップ方式で実施し、2日間で43人の市民の皆様に参加いただきました。

参加いただいた市民の皆様から多くの質問・意見や要望、貴重な提言をいただきましたので、抜粋してご紹介します。

これらの内容は整理し、政策提言等をしていく予定にしております。

◇期 日…平成29年11月21日(火)・22日(水)

◇時 間…午後6時30分～8時

◇会 場…竹田市総合社会福祉センター

◇テーマ…移住定住促進のための課題について
議会に対する意見・要望

◇方 法…ワークショップ方式(4班)

開 催 日 時	会 場	対 象 団 体
* () の数字は参加者数		
11月21日(火) 午後6時30分 ～8時	竹田市総合社会福祉センター (多目的ホール)	竹田市自治会連合会 (4)
		集落支援員 (4)
		地域おこし協力隊 (3)
		竹田市PTA連合会 (4)
		竹田市民生委員児童委員協議会 (3)
		暮らしのサポートセンター (4)
		合計 22名
11月22日(水) 午後6時30分 ～8時	竹田市総合社会福祉センター (多目的ホール)	竹田商工会議所 (3)
		竹田町商店街振興組合 (4)
		わくわくカード会 (4)
		九州アルプス商工会 (3)
		竹田市観光ツーリズム協会 (3)
		認定農業者、農畜産業後継者、 新規就農者 (4)
		合計 21名

テーマ 「移住定住促進のための課題について」

11月21日(火)・22日(水)2日間の意見交換のまとめ

問1)「移住・定住の取組で上手くいっていると思うところは、どういう点だと思いますか。」

＜参加した市民の皆さんのご意見＞

- 空き家バンクの利用相談が増加し、対応できた例もある。
- 地域おこし協力隊の成功。人数、定住率、地域行事への参加等。
そのことにより、新しい風を吹き込み地域の刺激になっている。
- 就農者への取組。補助金制度の充実で成功している。
- 商業者の若手が増加している。
- 農業を中心にやる気のある若手が多く、目的意識を持ち、覚悟を決め移住している。
- 中心街に、若い人の姿が多く見られるようになった。
- 自治会の人が親切でうまくいっている。
- 多くの作家さんの受け入れができています。
- 子供の教育環境が充実しており、学力テストの成績も良い。
- 行政のPR活動が活発。
- 治安が良く、子育てしやすい。

問2)「移住・定住の取組で問題や課題だと思うところは、どういう点だと思いますか。」

＜参加した市民の皆さんのご意見＞

- ▽職場がない。
- ▽交通の便が悪い。
- ▽地域おこし協力隊の方は、本当に定住する気持ちがあるのか。任期後に帰る人もいるし、よく理解できない。
- ▽保育所、病院が充実していない。産婦人科がない。
- ▽移住者が、自治会に入らない。
- ▽移住者と地元の人たちの交流がない。地元民の受け入れ態勢ができていない。理解してくれない。
- ▽労働者不足。
- ▽消防団員の確保。
- ▽家賃が高い。空き家の水道、トイレ、風呂の改修が必要。
- ▽地区の行事が多い。
- ▽農業の指導者がいない。
- ▽婚活対策が出来ていない。交流する場の提供等。
- ▽行政の宣伝不足。





問3)「今後、どのような取組が必要だと思いますか。」

＜参加した市民の皆さんのご意見＞

- ☆農業に特化した政策。(農業体験ができるシステムの構築等)
農村回帰プログラムの見直し。農機具、農地バンクを作る。
- ☆交通網の整備。
- ☆お試し住宅の設置。(ロングステイやショートステイの推進)
なぜ、竹田市を選んだのかをリサーチし、データを残す。
- ☆空き家バンクの条件整備。(家賃・家財道具の整理等)
- ☆地域や各種団体に地域おこし協力隊の方も参加し、活動してもらう。
- ☆地域おこし協力隊の名称を変える。(例 地域なじみ隊)
- ☆受け入れ側の意識向上を図る。
- ☆自動車税等、税金の軽減。
- ☆集落支援員の活動状況とその対策。情報共有の推進。
- ☆企業誘致を推進し、働き場の確保。



「市民との意見交換会」 アンケートのまとめ

問1)「意見交換会に参加しての感想をお聞かせください。」

＜市民の皆さんの声＞

＊今回の「市民との意見交換会」の持ち方について

- ◇大変良い取組と思います。各分野から、それぞれ活発な意見が出されており、成功だと思います。議会で、出された意見を十分協議して頂きたいと思います。
- ◇本日の会で十分に意見が言えませんでした。参加する前に考える時間があると良いです。いろいろなテーマで、このような意見交換の場をつくってほしいです。
- ◇このような会を地域ごとにも開催して、地域の各種団体（PTA・消防団・農業後継者等）が参加して、意見交換をすると良いと思います。

＊「移住・定住の取組」について

- ◇移住定住の一番のネックは、まず住んでみて自治会（人間）等に馴染めず、また、働く場所が少なく、生活していく自信が無くなり、困っていることだと思います。金銭的な問題等、若者たちの意見を聞いて、発表してもらう場を与えると良いと思います。
- ◇移住定住と言っても、年齢の違いや家族がいるかどうかによって、課題や対策が大きく異なってきます。ターゲットを絞って考えると良い案が出るのではないのでしょうか。
- ◇自分が22歳の時に、東京から帰ってきたのは水が合わなかったからです。竹田は出てみるとわかるのですが、素晴らしい土地です。外にアピールするポイントは沢山あります。
- ◇定住について、定住するかどうかは仕事が一番だと思います。個人事業主（農家や建築職人等）は、素晴らしい技術を持っているのに、個人のみで仕事をしている。個人事業主が人を雇うような意識改革と補助制度を考えて欲しい。
- ◇地域の方々の意識として、移住定住がしやすい環境を作っていただきたい。
- ◇出された意見をどのように生かしていくのか。農業を向上させれば、地域も向上する。
- ◇移住定住は人なり。自治会行事に呼び込み、溶け込めるための企画を数多く実施してほしい。自治会を挙げて応援する。
- ◇移住者は、最低限度の生活をしている。注視してほしい。
- ◇空き家については、誰でも利用できるような支援体制や貸せる対策を。
- ◇遺品整理業者を確保し、対策をとる。
- ◇新しく移住した方と交流会を持つ必要がある。
- ◇移住者の一人として、地元の人達が感じていることに触れることができた。
- ◇若い人が安心して住めるようにしてほしい。（家賃が高い、住むところがない）
- ◇住みやすいまちであると思えるようにしてほしい。
- ◇自分のまちを見直すきっかけとなった。
- ◇移住定住者に注目することも大事ですが、各職業における後継者も大事にしてほしい。

- ◇竹田に住み続けたいという意識を持ち、移住者も在住者も住人としての覚悟や責任を持たなければならない。
- ◇どうしても安全な場所へと逃げ込み、地域への入り込みができていない。(協力隊だけで集まる等)
- ◇地元の人が移住者に声をかけて、応援できることをする。
- ◇人手不足、人材不足であり、竹田市に人が集まることを望みたい。
- ◇農業と商業が連携する事業に対しての補助金制度をつくってはどうか。

問2)「議会に対するご意見・ご要望はありませんか。」

＜市民の皆さんの声＞

- ◆各種団体と、別に意見交換会を開催することが必要ではないか。テーマ等は決めずに、問題点を出しあいながらフリートーク形式で。
- ◆市立図書館の開館時間の延長と休館日の変更を検討してほしい。(祝日が月曜日の場合は他の曜日等)
- ◆集落支援員の会議に出席してほしい。
- ◆学校統合をしてほしい。
- ◆大学進学時における市の奨学金制度ができないか。(卒業後に竹田市に戻る者には無償とする)
- ◆農業をやめる方の地盤を引き継げるような仕組みや情報がほしい。
- ◆市報に入れている通信について、自治会においては全戸配布の負担が重く、班配布となっています。高齢者対象の文書も班回覧なので、戸主が見て回すことがほとんどです。配布物と対象者を精査、協議してから配布してほしい。
- ◆市議会の情報を発信しようとする姿勢を感じた。
- ◆市行政に対して、ストップをかけられる議会の役割を果たしてほしい。
- ◆議員の意見をもっと聞きたかった。
- ◆議員の事務所を作ってもらえると、いつでも意見が言えると思う。



議会改革調査特別委員会

行政視察報告

委員長 阿部 雅彦

去る1月23日と24日の2日間、山口県美祢市と福岡県大牟田市にて視察研修を行いました。視察したメンバーは、副委員長の徳永信二議員・驚司英彰議員・首藤健二郎議員と私の4名です。今回の視察先に選定した美祢市は、竹田市と人口・面積・議員数等同じ規模を持つ自治体です。どのような議会運営や議会改革を実践しているのかに注目しました。また、大牟田市は、議会基本条例を基にして、議会機能向上のための議会改革に取り組んでいる議会です。これから竹田市議会を改革していくために、参考になった点を中心に研修報告をします。

美祢市

まず、美祢市議会で参考となった点は、議会中継とタブレット端末導入についての2点です。議会中継では、

地元のケーブルテレビにて録画放送をしています。その内容は本会議・議会運営委員会・常任委員会・特別委員会、そのほかに政策討論会の様子があります。原則として、翌日と翌々日の2回、会議の模様をノーカットで放送しています。透明性のある、見える議会にするために、大いに参考とすべき点だと思います。さらに、

タブレット端末の導入については、ペーパーレス化により資源浪費を防ぎ、経費の削減をしていくと同時に、議会側と執行部側の情報交換のスピードアップと効率化も目指して、この4月より、年間130万円の予算で導入予定です。執行部側に30台、議会側に20台の合計50台を5年リースでの導入計画です。竹田市においても、執行部と議会での導入に向けての研究や検討をする価値がありそうです。



▲ 山口県美祢市

大牟田市

次に、大牟田市議会での研修で参考になった点です。議会基本条例は、竹田市議会よりも1年早く施行されています。条例では、市民意見を生かした議会機能の向上を柱にしたものになっています。特に、議会報告

会については、議会改革特別委員会で論議して、市民の関心が高いと思われるテーマを選定しています。そのほか原則として、昨年の報告会で出された市民意見の取組経過も報告するようにしています。また、市民意見聴取に努めるために、市議会に

対するアンケート調査を実施している点に注目しました。この取組は、70万円の予算で業者へ委託していますが、20歳以上の市民千人をアトラダムに抽出して、市民意見を聞いています。自分たちの活動を見直す大切なことだと感じています。もう一つ、参考にすべき重要な点は、決算の審査や事業の評価を、竹田市より早めの9月議会の中で行ない、新年度の予算に反映させられるように議会の運営をしている点です。

この2つの議会を研修し、参考になった点について、できるところから協議をはじめ、実現していかなければならないと思います。



▲ 福岡県大牟田市